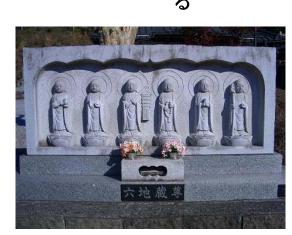
心の散歩道

のはずれ つもニコニコ見 のお地蔵さん は てござる

ってどんな仏さまでしょうか・・・て、よくお会いします。ところで、お地蔵さま山の麓、町の中、本当にどこにでも祭られてい(辻々)には必ずお地蔵さまが祭られており、深い仏さまは、 お地蔵さま です。分かれ道童謡にもうたわれ、幼い頃から私たちに親しみ

わたしたち人間に限らず、生きとし生けるもをさしのべてくださるといわれる仏さまです。この世に現れるまでの間、いつでも、どこでお釈迦様が入滅されてから、弥勒菩薩さまは、菩薩 と申します。 この地蔵菩薩さまは、蔵さまもその中のお一人で、正しくは 地蔵仏教には様々な仏さまがおられますが、お地

六 地 蔵 尊



伏息地蔵尊 護讃地蔵尊 伏勝地蔵尊 諸龍地蔵尊 無二地蔵尊 禅林地蔵尊 むに [ふくそく] [ふくしょう] [ぜんりん] しょうりゅう (ごさん) **持香炉** 持合掌 持衣服 持錫杖 持念珠 持如意 人道 修羅道 天 餓鬼道 畜生道 地獄道 道

この生死の繰り返しを輪廻転生といいます。 すべての終わりではなく、 の(仏教では衆生という)は、生を受けるといつかは必ず死を迎えます。 したちはずっと昔からさまざまな姿で生死を繰り返し今ここに生きてい その後もまた生があると考えられています。 る つまりわた しか 0) し死は て す。

この輪廻転生する世界には という六種類の世界 六道(ロクドウ) 地獄界 餓鬼界 があるとされています。 畜生界 修羅界

ます。 衆生は迷い これら六つの世界を輪廻転生しない方法があるのです。それは 仏の国 れば良いのです。 このことは永遠に苦しみの世界に生死を繰り返すことを意味します。 ・欲望のあるかぎり、この六種の世界を絶えず輪廻転生することに 浄土 へ生まれ、 苦しみも迷いもなく、 生死を繰り返さない世界に生 悟りの世界 しかし なり つま

ないようにしたいものです。 りに出来ない迷いの多い存在であるということも確かですが、 ことなのです。 怒りや嫉妬を抑え、 に自分の力で生まれ変わるには、 しかしながら、そのことが解っていても、 だれにでも慈悲の心をもつこと、 すべてのも わたしたちはその通 日々精進をおこたら のの道理を理解 そう 悟りを開

自分の力ではどうにもならないと反省し救いを求めたならば、 心ですべてを受け入れて救済し導いてくださります 0 お 地蔵さまは偉 大な

て安ら りのときは、先ず六地蔵様にお参りをして、 に居られるようお祈りをし、 たしましょう。 自分自身も仏心が目覚め安らかであれるよう、 ご先祖様が六道で迷わず、